

「鹿骨地域農の風景育成計画書（案）」の意見募集結果について

「鹿骨地域農の風景育成計画書（案）」に関する意見募集手続きは、令和5年2月15日から2月28日までの期間で行いました。その際、2名より計4件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

1 意見募集手続の概要

(1) 意見募集期間

令和5年2月15日から2月28日までの間

(2) 周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和5年2月15日号の「広報えどがわ」に掲載

※都市開発部都市計画課窓口に閲覧用の印刷物を設置

(3) 意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

(4) 提出先

都市開発部都市計画課都市計画係

2 意見募集の結果

	頂いたご意見	区の考え方
1	素晴らしいと思います。	貴重なご意見ありがとうございました。
2	農の風景が育成される事で、この地区に明日に対するワクワク感を感じられ、この地区が活性化される期待が持てる今後のワークショップの実施と、ワークショップでのアイデア・成果が実際のまちづくりに反映されていける、行政を含めた公的機関バックアップを望みます。	農の風景育成地区の取組を地域の皆さんと一緒に推進するため、次年度以降もワークショップを継続し、様々な方の意見を「まちづくり」に反映させていきます。 また、東京都やJAなどともこれまで以上に連携を強め、地域活動を盛り上げていきたいと考えています。

	頂いたご意見	区の考え方
3	<p>農業公園は1ヶ所が整備されるのではなく、遊休になって点在している生産緑地や空地化した部分を結び付けて、農地と宅地がパッチワークで豊かに融合した鹿骨地区としての風景が創られていくよう、都市計画や関連法令の整備、運用、農家だけでなく一般家庭でも家庭菜園やガーデニングなどを通して農業に触れられ、地区全体で農の風景を育成して行ける環境作りを望みます。</p>	<p>地区内には中小規模の農地が点在していることから、営農継続困難となった農地を都市計画制度を利用して区が買い取り、農業公園として整備しつつ、地区内の農地や公園など様々な資源と連携し、地区全体で農業公園の機能を発揮していきたいと考えています。</p> <p>その連携対象として、一般家庭も視野に入れて取組みを推進してまいります。</p>
4	<p>鹿骨地区も高齢化や空家の増加があり、農地の保全だけでなく、地区農産物を利用した、空家を活用した飲食・加工・関連製品の製造・販売などの地区全体での産業づくりを通したまちの活性化の検討も必要だと考えます。</p>	<p>地区全体で農業公園の機能を発揮するという考えにおいて、地区内の空家の活用も検討対象としており、今後情報収集等に努め、農の風景の保全に資する活用を推進してまいります。</p>